

## 第3章 参考資料集

資料1	社会教育委員の会議 協議経過.....	60
資料2	平成25, 26年度 壬生町社会教育委員の会議 名簿.....	61
資料3	諮問書 .....	62
資料4	調査用紙および調査結果.....	63
資料5	社会教育委員の会議 グループ協議の記録 .....	79

資料1 社会教育委員の会議 協議経過

開催日	会議名（会場）	形態	主な協議内容
平成25年 5月10日（金）	第1回会議 （ひばり館A会議室）	全員での講習  小グループでの協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講義 「社会教育委員の役割について 講師：栃木県教育委員会事務局 生涯学習課 副主幹 井上昌幸氏</li> <li>・協議のテーマ 「中学校を卒業した青少年が、いきいきと地域活動に参画するために大切なこと」</li> </ul>
7月11日（木）	第2回会議（第1会議室）	小グループでの協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提言と方策の検討</li> <li>・アンケート調査について</li> <li>・先進事例について</li> <li>・部会の設置について</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>
8月7日（水）	第1回調査研究部会 （ひばり館C会議室）	部会委員による協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査内容の検討</li> <li>・調査用紙の作成</li> </ul>
9月2日（月）	調査開始		
9月18日（水）	調査終了		
9月26日（木）	第2回調査研究部会 （ひばり館A会議室）	部会委員による協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査の結果について</li> <li>・結果の考察について</li> </ul>
10月22日（火）	第3回会議 （第2会議室）	全員での協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第44回 関東甲信越静社会教育研究大会 第2分科会の発表内容について</li> <li>・答申素案の検討</li> </ul>
12月12日（木）	第3回会議 （ひばり館A会議室）	全員での協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・答申素案の修正</li> </ul>
平成26年 1月20日（月）	校正編集部会 （ひばり館A会議室）	部会委員による協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・答申案の最終校正</li> </ul>
2月〇日（△）	答申書提出	教育委員長への手交	

資料2 平成25, 26年度 壬生町社会教育委員の会議 名簿

委嘱期間 平成25年4月1日～平成27年3月31日

	氏名	所属団体, 役職名	部会
委員長	田中鍾八郎	社会教育関係団体 (文化協会会長)	調査研究 校正編集
副委員長	小島 佳苗	社会教育関係団体 (子ども会育成会連絡協議会)	調査研究 校正編集
1	中村 仲	学校教育 (壬生高等学校長)	
2	山崎 秀男	学校教育 (中学校長代表・壬生中学校長)	校正編集
3	坂本 信子	学校教育 (小学校長代表・藤井小学校長)	
4	須藤 重雄	社会教育関係団体 (PTA連合会・藤井小学校PTA会長)	
5	鯉沼 玲子	社会教育関係団体 (人権擁護委員, 農村生活研究グループ協議会)	校正編集
6	高田美代子	家庭教育 (家庭教育支援チーム)	
7	若林 享子	家庭教育 (メリーランド保育園長)	調査研究
8	赤羽根信行	学識経験者 (議員・教育民生常任委員長)	
9	島田 繁雄	学識経験者 (前那須青峰高校長・那須塩原市社会教育委員・ 元町子連サポーター)	調査研究
10	千種 雄一	学識経験者 (睦地区コミュニティ推進協議会事務局員・ 獨協医科大学教授)	校正編集
11	笠井美恵子	学識経験者 (放課後学習支援スタッフ)	調査研究
12	外山 幸江	学識経験者 (公民館利用者・公民館まつり実行委員長)	校正編集
13	松山美由紀	学識経験者 (公民館利用者)	

平成25年 2月20日

壬生町社会教育委員の会議 議長 様

壬生町教育委員会

## 諮 問 書

社会教育法第17条第1項第2号の規定により下記のとおり諮問します。

### 記

#### 1 諮問事項

「中学校卒業後の青少年による、地域活動及び公民館事業への参画について」

#### 2 諮問理由

平成23年度に壬生町社会教育委員の会議より「中学生による地域活動及び公民館事業への参画について」の答申を受けて、壬生町教育委員会は中学生の地域活動及び公民館事業への参画を計画し実施してきました。その結果、多くの中学生が地域活動等に参画し、その事によって中学生は地域活動の喜びを体験し、地域の方々との交流をもつことが出来ました。また、地域の方々も中学生の姿に感動し、今の中学生のよさを知る機会となりました。

さて、地域活動を経験した中学生が、そのまま中学時代だけの経験にとどまることなく、成人へと成長する段階においても地域活動及び公民館事業に参画することによって、壬生町の住民としての誇りをもち、郷土を愛することが出来ると考えられます。中学生時代に経験した地域活動が、中学校卒業後もソフトランディングできる環境をつくることによって、「壬生町に住んで良かった」「壬生町で学んで良かった」と思える青少年が育ち、やがて誇り高き大人へと成長してほしいと願っています。

そこで、中学校を卒業した青少年が、地域での活動をどのように考えているのか、また、先進事例等についても調査し、実効性ある方策を提言していただきたいと思えます。

なお、答申は、平成26年3月31日までをお願いします。

## 資料4 調査用紙および調査結果

### 中学生を対象とした調査

#### ■質問1 学年，性別をお答えください。

N=345

中1	中2	中3	男子	女子	不明
121 (35.1%)	108 (31.3%)	116 (33.6%)	161 (46.7%)	178 (51.6%)	6 (1.7%)

#### ■質問2 自分自身のことについてお聞かせください。(あてはまると思うものすべてを選ぶ)

回答内容	回答数	回答率
1 自分は，自分のことが好きだと思う。	93	27.0%
2 自分は，価値のある存在だと思う。	67	19.4%
3 自分は，誰かのために役立つことができると思う。	198	57.4%
4 自分は，他の人の思いや気持ちを大切にしている。	233	67.5%
5 自分は，考えが違う人の意見も受け入れることを大切にしている。	202	58.6%
6 自分は，相手のことをよくほめることを大切にしている。	145	42.0%

#### ■質問3 あなたは，町や地域で行っている行事に興味や関心がありますか。(1つ選ぶ)

回答内容	回答数	回答率
1 興味や関心がある。	83	24.1%
2 どちらかといえば興味や関心がある。	133	38.6%
3 あまり興味や関心がない。	103	29.9%
4 興味や関心がない。	23	6.7%

#### ■質問4 中学生になってから，自分の住んでいる町や地域の行事に参加したことがありますか。

(各中学校で実施している「空ビンリサイクル」「廃ビン・ペットボトル回収」は除きます。)

(1つ選ぶ)

回答内容	回答数	回答率
1 よく参加している。	63	18.3%
2 どちらかといえば参加している。	85	24.6%
3 あまり参加していない。	104	30.1%
4 参加していない。	89	25.8%

#### ■質問5 質問4で1～2を選んだ方にうかがいます。町や地域の行事に参加してよかったことは何ですか。(特にあてはまるものを3つ以内で選ぶ)

n=148

回答内容	回答数	回答率
1 地域の大人や小さな子どもなど，いろいろな人と交流できたこと。	61	41.2%
2 壬生町や地域の一員である自分の存在を感じ取ることができたこと。	30	20.3%
3 町や地域，誰かの役に立つことができたうれしさを感じ取れたこと。	63	42.6%
4 一生懸命取り組み，達成感を味わうことができたこと。	83	56.1%
5 地域の人たちと力を合わせて取り組む大切さを感じ取れたこと。	44	29.7%
6 地域の人に「ありがとう」「がんばったね」などあたたかい言葉をかけてもらったこと。	54	36.4%
7 自分のことをまわりの人に認めてもらったこと。	13	8.8%
8 町や地域の行事に，自分のアイディアや意見を取り入れてもらったこと。	0	0.0%
9 他の学校に新しい友だちができたこと。	16	10.8%
10 その他 ( )	0	0.0%

- 質問6 中学校を卒業してから、自分の住んでいる町や地域での行事に参加する機会があったらどうしますか。 (1つ選ぶ)

回答内容	回答数	回答率
1 ぜひ参加してみようと思う。	65	18.8%
2 興味や関心のあることにはなるべく参加してみようと思う。	115	33.3%
3 友だちと一緒なら興味や関心のあることには参加してもいいと思う。	77	22.3%
4 部活や勉強が忙しくなるだろうから、あまり参加することはないと思う。	52	15.1%
5 参加するつもりはない。	31	9.0%

- 質問7 質問5で1～3を選んだ方にうかがいます。どのような行事に参加してみようと思いますか。(特にあてはまるものを3つ以内で選ぶ) n=257

回答内容	回答数	回答率
1 自分たちで何かを企画して実施できる行事	39	15.2%
2 まちづくりにつながる行事や話し合い	27	10.5%
3 福祉、環境、自然保護などのボランティア活動	51	19.8%
4 町や地域に受け継がれている伝統的な祭や行事	62	24.1%
5 町や教育委員会が主催、共催の大きな行事 (チャリティー交流会、ふるさとまつり、健康ふくしまつり、ゆうがおマラソンなど)	65	24.3%
6 スポーツに関係のある町や地域の行事 (計画や運営に携わることができるもの)	23	8.9%
7 スポーツに関係のある町や地域の行事 (実際に競技者として参加できるもの)	50	19.5%
8 文化・芸術・音楽に関係のある町や地域の行事 (計画や運営に携わることができるもの)	20	7.8%
9 文化・芸術・音楽に関係のある町や地域の行事 (実際に作品を展示したり、演奏したりできるもの)	32	12.5%
10 お楽しみ会やレクリエーションなど住民どうしの交流ができる行事	52	20.2%
11 同じ年代の青少年が集うサークル活動	25	9.7%
12 その他 ( )	0	0.0%

- 質問8 町や地域の行事で何か企画することができるとしたら、どのようなことを企画しますか。理由も記述してください。

回答内容	回答数	回答率
第1章 第6節 6-1 中学生からのアイデア (p34～) を参照	—	—

高校生(壬生高校1年生)を対象とした調査

■質問1 あなたの住んでいる地域をお答えください。 (1つ選ぶ) n=57

1 壬生町	2 壬生町外			
	38(66.7%)			
19(33.3%)	栃木市	宇都宮市	小山市	その他, 回答なし
	16(28.1%)	15(26.3%)	3(5.3%)	4(7.0%)

■質問2 あなたの性別をお答えください。 (1つ選ぶ)

男	女
9(15.8%)	46(80.7%)

■質問3 あなたは、地域活動に興味や関心がありますか。 (1つ選ぶ)

回答内容	回答数	回答率
1 興味や関心がある。	7	12.3%
2 どちらかといえば興味や関心がある。	23	40.4%
3 あまり興味や関心がない。	21	36.8%
4 興味や関心がない。	4	7.0%

■質問4 中学3年生の時に、自分にとって身近な地域での活動や行事に参加したことがありますか。  
(各中学校で実施しているリサイクル活動、奉仕作業等は除きます。) (1つ選ぶ)

回答内容	回答数	回答率
1 積極的に参加していた。	4	7.0%
2 何回か参加したことがある。	19	33.3%
3 少なくとも1回は参加したことがある。	19	33.3%
4 一度も参加したことがない。	13	22.8%

■質問5 高校生になってから、身近な地域や市町での活動や行事に参加したことがありますか。

(1つ選ぶ)

回答内容	回答数	回答率
1 よく参加している。	4	7.0%
2 どちらかといえば参加している。	5	8.8%
3 どちらかといえば参加していない。	12	21.1%
4 参加していない。	34	59.6%

■質問6 自分にとって身近な地域や市町で、高校生が参加できる地域活動や行事があるとしたらどうしますか。 (1つ選ぶ)

回答内容	回答数	回答率
1 ぜひ参加してみようと思う。	6	10.5%
2 興味や関心のあることにはなるべく参加してみようと思う。	13	22.8%
3 友だちといっしょなら興味や関心のあることには参加してもいいと思う。	21	36.8%
4 あまり参加することはないと思う。	12	21.1%
5 参加するつもりはない。	2	3.6%

- 質問7 質問6で1～3を選んだ方にうかがいます。どのような地域活動や行事に参加してみようと思いますか。(特にあてはまるものを3つ以内で選ぶ) n=40

回答内容	回答数	回答率
1 自分たちで何かを企画して実施できる行事	6	15.0%
2 まちづくりにつながる行事や話し合い	2	5.0%
3 福祉、環境、自然保護などのボランティア活動	18	45.0%
4 市町や地域に受け継がれている伝統的な祭や行事	10	25.0%
5 市町や教育委員会が主催、共催の大きな行事	1	2.5%
6 スポーツに関係のある市町や地域の行事(計画や運営に携わることができるもの)	3	7.5%
7 スポーツに関係のある市町や地域の行事(競技者として参加できるもの)	8	20.0%
8 文化・芸術・音楽に関係のある市町や地域の行事(計画や運営に携わることができるもの)	6	15.0%
9 文化・芸術・音楽に関係のある市町や地域の行事(作品を展示したり、演奏したりできるもの)	14	35.0%
10 お楽しみ会やレクリエーションなど住民どうしの交流ができる行事	9	22.5%
11 園児や小学生など小さな子のためになる活動	16	40.0%
12 同じ年代の青少年が集うサークル活動	6	15.0%
13 公民館や生涯学習館主催の行事	1	2.5%
14 その他( )	0	0.0%

- 質問8 高校生が参加できる地域での活動や行事についての情報を得るとしたら、どのような方法が便利ですか。(特にあてはまるものを2つ以内で選ぶ)

回答内容	回答数	回答率
1 高校を通じてプリントをもらう。	40	70.2%
2 コンビニ、スーパーなどや駅などの公共機関にポスターが掲示されている。他にどんどこにポスターがあると効果的ですか?( )	9	15.8%
3 市町や教育委員会のホームページを見る。	3	5.3%
4 メールやSNSなど、インターネットでの情報を見る。具体的に何をよく使っていますか?(例 facebook, line )	10	17.5%
5 広報紙や回覧板を見る。	15	26.3%
6 同じ地域に住む大人の人から誘ってもらう。	3	5.3%
7 特に情報を得るのに便利な方法はない。	1	1.8%
8 その他( )	0	0.0%

- 質問9 壬生町には地域活動やボランティア活動に取り組む団体が多数ありますが、機会があったら一緒に活動したいと思いますか。(1つ選ぶ)

回答内容	回答数	回答率
1 ぜひ一緒に活動してみたいと思う。	5	8.8%
2 自分の興味や関心のあることで時間が合えば一緒に活動してみたい。	27	47.4%
3 どちらかといえばあまり活動したくない。	18	31.6%
4 一緒に活動したくない。	3	5.3%

- 質問10 町や地域の行事で何か企画することができるとしたら、どのようなことを企画しますか。理由も記述してください。

回答内容	回答数	回答率
第1章 第6節 6-2 高校生からのアイデア(p36～)を参照	—	—

## 保護者を対象とした調査

### ■質問1 お子さんの学年と性別をお答えください。(それぞれ1つ選ぶ) N=405

中1	中2	中3	高1	男子	女子	不明
120 (29.6%)	109 (26.9%)	117 (28.9%)	59 (14.6%)	176 (43.5%)	226 (55.8%)	3 (0.7%)

### ■質問2 壬生町教育委員会では平成24年度から中学生による地域活動を推進しておりますが、このことについてどのようにお考えですか。(1つ選ぶ)

回答内容	回答数	回答率
1 とてもよいことなので今後もぜひ続けてほしい。	159	39.3%
2 よいことなのでなるべく今後も続けてほしい。	212	52.3%
3 あまり効果が期待できないので続けなくてもよい。	22	5.4%
4 子どもにとって必要のないことである。	5	1.2%

### ■質問3 質問2で1～2を選んだ方にうかがいます。今後、中学校を卒業した青少年にも地域での活動や行事に参加してもらうために大切なことは何だと思えますか。(特に当てはまるものを3つ以内で選ぶ) n=371

回答内容	回答数	回答率
1 青少年が、ともに地域で活動する仲間との出会えること。	152	40.7%
2 地域の大人と青少年とがかかわれる機会があること。	201	54.2%
3 地域の大人がもっと積極的に地域の行事にかかわるようにすること。	51	13.7%
4 子どもが小さな頃から地域の活動や行事に参加できる機会を設けていくこと。	155	41.0%
5 地域で子どもや青少年を育てていくという考えを広めていくこと。	125	33.4%
6 近所付き合いを大切にしていくこと。	67	17.5%
7 自治会や育成会の活動をもっと活発にしていくこと。	27	7.3%
8 いろいろな人とのふれあいを大切にしようとする保護者の意識を高めること。	77	20.2%
9 青少年の多忙感を軽減すること。	26	7.0%
10 その他 ( )	9	2.4%

### ■質問4 自分のお子さんが地域の行事に参加することについて、あなたはどのようにお考えですか。(1つ選ぶ)

回答内容	回答数	回答率
1 機会があれば、ぜひ積極的に参加させたい。	122	30.1%
2 子ども本人がやりたいのであれば、参加させたい。	249	61.5%
3 時間的・体力的な面から考えると、参加できる状況にない。	20	4.9%
4 勉強や部活動等の妨げになるので、参加させたくない。	5	1.2%
5 その他 ( )	7	1.7%

### ■質問5 お子さんは、この1年間で身近な地域や市町での活動や行事に参加したことがありますか。(各校で実施しているリサイクル活動、奉仕作業等は除きます。)(1つ選ぶ)

回答内容	回答数	回答率
1 積極的に参加していた。	23	5.7%
2 何回か参加したことがある。	85	21.0%
3 少なくとも1回は参加したことがある。	106	26.2%
4 まったく参加したことがない。	188	46.4%

- 質問6 質問5で1～3を選んだ方にうかがいます。お子さんが市町や地域での活動や行事に参加したあと、以前と比べて態度や行動に変化がありましたか。(特にあてはまるものを3つ以内で選ぶ)  
n=153

回答内容	回答数	回答率
1 地域活動に対して積極的に参加するようになった。	13	8.5%
2 ボランティアへの関心が高まった。	45	29.4%
3 誰かの役に立とうとする気持ちが高まった。	55	35.9%
4 自分に自信がついた様子が見られる。	38	24.8%
5 他の人の気持ちを深く考えられるようになった。	15	9.8%
6 いろいろな人とかかわりやふれあいを大切にするようになった。	56	36.6%
7 地域の人に対して積極的にあいさつしたり、話しかけたりするようになった。	30	19.6%
8 コミュニケーションが上手になった。	13	8.5%
9 あまり変化が見られない。	61	28.5%
10 その他 ( )	5	3.3%

- 質問7 あなたは(保護者のみなさまご自身が)、ここ1年の間に、市町や地域の行事等(伝統的な社寺行事を含む)に参加したり協力したりしましたか。(1つ選ぶ)

回答内容	回答数	回答率
1 積極的に参加したり、協力したりした。	42	10.4%
2 何回か参加し、協力したりしたことがある。	123	30.4%
3 少なくとも1回は参加したり、協力したりしたことがある。	131	32.3%
4 参加も協力もしていない。	102	25.2%

- 質問8 質問7で1～3を選んだ方にうかがいます。どのような理由で参加や協力をしましたか。(1つ選ぶ)

n=303

回答内容	回答数	回答率
1 自分が地域の行事や活動に関心があり、毎回積極的に参加、協力しているから。	18	5.9%
2 自分にとって興味があり、活動、協力可能な行事や活動だったから。	58	19.1%
3 自分の子どもや地域の人たちが喜ぶことができるから。	37	12.2%
4 自分の子どもと一緒に参加しよう、協力しようと言ってきたから。	13	4.3%
5 まわりの人に誘われたり、お願いされたりしたから。	40	13.2%
6 自治会や育成会の役員や当番だったから。	139	45.9%
7 その他 ( )	7	2.3%

- 質問9 あなたは(保護者のみなさまご自身が)、壬生町には地域活動やボランティア活動に取り組む団体が多数ありますが、機会があったら一緒に活動したいと思いますか。(1つ選ぶ)

回答内容	回答数	回答率
1 すでに団体に所属して活動している。	14	3.5%
2 ぜひ一緒に活動してみたいと思う。	14	3.5%
3 自分の興味や関心のあることで時間が合えば一緒に活動してみたい。	298	73.6%
4 どちらかといえばあまり活動したくない。	62	15.3%
5 一緒に活動したくない。	7	1.7%

- 質問10 町や地域の行事で何か企画することができるとしたら、どのようなことを企画しますか。理由も記述してください。

回答内容	回答数	回答率
第1章 第6節 6-3 保護者からのアイデア (p37～)を参照	—	—

## 自治会を対象とした調査

### ■質問 1 自治会名をお書きください。

5 4 自治会で回答あり n=54

### ■質問 2 あなたは（自治会長さんご本人）、自治会の行事や活動でさまざまな世代の人たちが交流する機会についてどうお考えですか。（1つ選ぶ）

回答内容	回答数	回答率
1 積極的にさまざまな世代の人が交流できる機会を設けたい。	13	24.1%
2 できればさまざまな世代の人が交流できる機会を設けたい。	37	68.5%
3 できればさまざまな世代の人が交流できる機会を設けたくない。	3	5.6%
4 さまざまな世代の人が交流する機会はいらない。	1	1.9%

### ■質問 3 壬生町教育委員会では、平成 24 年度から中学生による地域活動を推進して参りましたが、このことについてご存じでしたか。（1つ選ぶ）

回答内容	回答数	回答率
1 中学生による地域活動の推進の意義などよく知っている。	8	14.8%
2 中学生による地域活動の推進についてある程度知っている。	21	38.9%
3 中学生による地域活動が推進されていることは聞いたことがある。	16	29.6%
4 中学生による地域活動が推進されていることを知らない。	9	16.7%

### ■質問 4 貴自治会では、ここ 1 年の間に中学生や高校生が地域の行事や活動に参加したことがありますか。（1つ選ぶ）

回答内容	回答数	回答率
1 毎回、何人もの中学生や高校生が地域の行事や活動に参加している。	2	3.7%
2 ときどき中学生や高校生が地域の行事や活動に参加している。	5	9.3%
3 少なくとも 1 回は中学生や高校生が地域の行事や活動に参加した。	20	37.0%
4 中学生や高校生に呼びかけたけれど参加はなかった。	4	7.4%
5 中学生や高校生に呼びかけていないので参加はなかった。	23	42.6%

### ■質問 5 質問 4 で 1～3 を選んだ方にうかがいます。中学生や高校生はどのような行事や活動に参加しましたか。（あてはまるものすべてを選ぶ） n=27

回答内容	回答数	回答率
1 清掃、花植、リサイクルなど	18	66.7%
2 夏まつり、どんど焼きなど	15	55.6%
3 会議、話し合いなど	0	0.0%
4 旅行、お楽しみ会、レクリエーションなど	9	33.3%
5 文化祭、体育祭など	7	25.9%
6 声かけ運動、避難訓練、防災訓練など	2	7.4%
7 高齢者、障害者への支援など	0	0.0%
8 農業体験、植樹など	0	0.0%
9 その他（ ）	0	0.0%

### ■質問 6 貴自治会では「地域懇談会」を実施していますか。（1つ選ぶ） 施していればどのような人が参加しているかお書きください。

実施している	実施していない	無回答
9 (16.7%)	43 (79.6%)	2 (3.7%)

### ■質問 7 社会教育活動（地域活動）やボランティア活動などに取り組んでいる団体が、お住まいの近くにありますか。または、壬生町内にある団体を知っていますか。 （例：夢壬隊 まちづくり ポケット 子育て支援） ※回答内容は省略

■質問8 貴自治会では、どのような行事や活動を行っていますか。月別にご記入ください。また、中学生や青少年が参加できそうな行事や活動に○をつけてください。また、地元の社寺や伝統行事など自治会主催でないものでご存じのものがあれば、あわせてご記入ください。

※以下の表は、回答があった活動や行事の中から中学生や青少年が参加できそうなものを抜粋し、掲載した。

自治会名 安塚三	
月	行事名・内容等
4	
5	
6	
7	夏まつり
8	
9	
10	
11	
12	安塚三自治会ふれあいまつり(もちつき, クリスマス, 忘年会)
1	
2	
3	防災訓練

自治会名 城南	
月	行事名・内容等
4	竹の子掘り大会
5	美化キャンペーン
6	
7	八坂祭
8	子供交流会(地域懇談会, バーベキュー大会等)
9	精忠神社例祭(かんぴょう踊り)
10	八幡宮例祭, 親睦旅行
11	
12	
1	
2	
3	稲荷神社例祭

自治会名 至宝町南	
月	行事名・内容等
4	
5	環境美化(地域内のごみ収集)
6	青少年健全育成懇談会 防犯交通安全教室
7	至宝町八坂祭 納涼祭
8	ふれあい道路・環境整備
9	
10	ファミリーウォークラリー
11	
12	お楽しみ会(もちつき大会) 子供夢祭り
1	
2	
3	

自治会名 栄町	
月	行事名・内容等
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	みぶ蘭学通りまつり
11	
12	
1	
2	
3	

自治会名 六美南部	
月	行事名・内容等
4	毎月1回の資源ごみ(ペットボトル)整理 ~3月
5	春の子供工作教室(NPO)
6	
7	六美地区夏祭り
8	夏の納涼大会(NPO) 黒川水生昆虫調査
9	
10	防災避難訓練 六美地区敬老の集い
11	六美地区文化祭
12	
1	
2	どんど焼き
3	黒川に鮭を戻す稚魚放流(NPO)

自治会名 鯉沼	
月	行事名・内容等
4	
5	
6	
7	
8	資源ごみ回収
9	
10	
11	
12	
1	
2	
3	

自治会名 六美北部 青少年・中学生の参加は曜日による	
月	行事名・内容等
4	月2回もったいない活動(資源ごみ回収) 睦小周囲除草作業
5	1日研修旅行 就労施設支援センターの水やり(5~7月の土日祭朝夕)
6	睦小周囲除草作業 児童館手伝い グリーン活動(小学校周囲の花植)
7	除草作業 学校周囲金網張り替え 納涼祭 日帰り研修旅行
8	地域パトロール 小学校周囲除草作業 夏の集い(暑気払い)
9	就労施設支援センターの水やり(9~11月の土日祭朝夕) 児童館手伝い 六美会館清掃
10	六美南・中・北3自治会による敬老の集い
11	六美北部ワンワン防災フェスティバル 3自治会文化祭
12	年末地域パトロール 交通, 防犯講習会
1	3自治会による焼開き
2	活動の反省会
3	六美会館清掃 救難救助(AED)講習会

自治会名 中央	
月	行事名・内容等
4	
5	
6	
7	天王尊例祭 羽生田集落センター清掃
8	
9	
10	羽生田小学校・自治会共同運動会
11	
12	
1	どんど焼き
2	羽生田集落センター清掃
3	

自治会名 国谷本田	
月	行事名・内容等
4	
5	環境美化ごみ拾い みんなで歩こう会
6	
7	落合・本田夏まつり
8	
9	
10	
11	四所神社秋季例大祭
12	
1	
2	
3	四所神社春季例大祭

自治会名 三好町	
月	行事名・内容等
4	
5	道路清掃
6	
7	八坂祭
8	
9	
10	
11	
12	愛宕塚古墳清掃
1	
2	
3	

自治会名 稲葉下馬木	
月	行事名・内容等
4	
5	ごみ, 空き缶拾い
6	
7	
8	
9	
10	
11	上稲葉レクリエーション 里山の下草刈り
12	
1	
2	
3	

自治会名 下馬木	
月	行事名・内容等
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	神明宮秋の祭典 芋煮会
12	
1	
2	
3	

自治会名 東下台	
月	行事名・内容等
4	ペットボトル回収 (平日実施 通年) 土日実施ならば参加可能
5	
6	
7	いきいきサロン (3月まで) 土日であれば参加可能
8	
9	
10	
11	
12	
1	
2	
3	

自治会名 緑町2丁目	
月	行事名・内容等
4	資源ごみ回収, ペットボトル整理 (通年) 公園の清掃, 園遊会
5	主要道路の清掃
6	公園の清掃 旅行 友愛訪問
7	ミニスポーツ大会
8	夏祭り ボーリング大会 ラジオ体操
9	公園の清掃 カーブミラー清掃 防火訓練 敬老の日お祝い
10	スポレク大会 公園の清掃
11	文化祭 芋煮会
12	友愛訪問 公園の清掃
1	新年会
2	
3	

自治会名 安塚南部	
月	行事名・内容等
4	毎月1回資源ごみ回収 (3月まで)
5	環境美化キャンペーン (道路清掃)
6	グラウンドゴルフ
7	夏まつり in 安塚
8	道路ふれあい月間 (道路清掃)
9	
10	ファミリーフェスティバル安塚
11	グラウンドゴルフ
12	安南ふれあいまつり
1	
2	
3	

自治会名 いずみ	
月	行事名・内容等
4	隔月資源ごみ回収 (3月まで)
5	主要道路清掃
6	
7	自治会夏祭り
8	コミュニティ夏祭り
9	
10	スポーツレクリエーション大会
11	自治会懇親会 (いずみの集い)
12	主要道路清掃
1	
2	
3	

自治会名 幸町三丁目	
月	行事名・内容等
4	
5	花いっぱい運動 道路清掃
6	歩こう会
7	
8	夏祭り
9	
10	スポーツレクリエーション大会 花だの整備
11	文化祭
12	道路清掃
1	
2	
3	

自治会名 緑町3丁目	
月	行事名・内容等
4	
5	育成会資源回収 環境美化清掃活動 メルヘンロードフラワー事業
6	交通安全設備清掃
7	育成会夏休み健康増進
8	コミュニティ夏祭り 中学校資源回収 道路ふれあい運動
9	敬老の集い 育成会資源回収
10	スポレク大会
11	側溝清掃月間活動
12	年末主要道路清掃活動
1	
2	
3	

自治会名 城内	
月	行事名・内容等
4	資源ごみ回収 (毎月 必要に応じて参加可能)
5	歩け歩け大会 育成会農園 (10月まで)
6	
7	八坂祭
8	納涼祭
9	
10	
11	芋煮会・育成会お楽しみ会 防犯訓練 (炊き出し)
12	
1	
2	
3	

自治会名 北小林	
月	行事名・内容等
4	
5	
6	
7	公民館清掃
8	育成会の旅行 中学生の廃品回収
9	
10	小林神社楽師様の祭礼にあわせ、ふれあい応援事業
11	
12	
1	
2	
3	卒業生を送る会

自治会名 駅東	
月	行事名・内容等
4	
5	関東美化運動
6	
7	
8	夏休み特別パトロール
9	
10	
11	防犯訓練
12	年末防犯パトロール
1	
2	
3	

自治会名 原坪	
月	行事名・内容等
4	磐裂神社春季例祭
5	
6	
7	草花植栽 生き物調査
8	防犯パトロール△
9	
10	生き物調査 雑草刈り 磐裂神社秋季例祭 献穀祭
11	
12	防犯パトロール△
1	どんど焼き
2	
3	聖徳太子祭典

自治会名 万町	
月	行事名・内容等
4	資源ごみ回収（毎月）
5	環境美化運動
6	
7	夏まつり
8	
9	
10	
11	
12	もちつき大会
1	
2	
3	

自治会名 旭町	
月	行事名・内容等
4	
5	
6	
7	
8	夏祭り リサイクル活動
9	
10	
11	秋祭り ふれあい交流会
12	
1	
2	
3	

自治会名 上町	
月	行事名・内容等
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	お年寄りとのレクリエーション大会
12	
1	
2	
3	

自治会名 至宝町北	
月	行事名・内容等
4	
5	全国美化運動（ごみゼロの日）
6	親子ふれあい レクリエーションとバーベキュー
7	八坂祭 御輿 納涼祭
8	河川、道路守る月間（ごみ、草取り）
9	敬老の集い（受付、写真係）
10	
11	
12	年越し子供夢まつり
1	
2	
3	

自治会名 緑町一丁目	
月	行事名・内容等
4	公園清掃 ペットボトル処理
5	資源ごみ回収 公園清掃
6	花植え 公園清掃
7	ペットボトル処理 公園清掃
8	夏祭り 道路ふれあい活動
9	資源ごみ回収 公園清掃
10	スポーツ大会 公園清掃
11	いきいきふれあい応援事業 花植 資源ごみ回収 文化祭
12	公園清掃
1	公園清掃
2	公園清掃 資源ごみ回収
3	

自治会名 下表町	
月	行事名・内容等
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	運動会
11	
12	
1	初詣
2	
3	

自治会名 今井

月	行事名・内容等
4	
5	
6	
7	
8	愛宕神社子供すもう大会
9	
10	
11	
12	
1	
2	
3	地藏尊祭り

自治会名 幸町1丁目

月	行事名・内容等
4	
5	
6	公園, 街路樹の除草, 散水, 町内清掃
7	公園, 街路樹の除草, 散水, 町内清掃
8	公園, 街路樹の除草, 散水, 町内清掃
9	公園, 街路樹の除草, 散水, 町内清掃
10	
11	
12	町内の清掃活動
1	
2	
3	

自治会名 田向稲荷内

月	行事名・内容等
4	
5	
6	
7	
8	
9	藤井小学校運動会参加
10	
11	
12	
1	
2	
3	

自治会名 七ツ石松原

月	行事名・内容等
4	
5	
6	
7	
8	リサイクル活動
9	
10	
11	
12	
1	
2	
3	

自治会名 下町

月	行事名・内容等
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	上稲葉レクリエーション大会
12	
1	
2	
3	

自治会名 安塚一

月	行事名・内容等
4	
5	
6	
7	夏祭り
8	
9	
10	ファミリーフェスティバル
11	
12	
1	
2	
3	

自治会名 車塚	
月	行事名・内容等
4	とちぎ環境美県民化運動（清掃作業）
5	
6	道路ふれあい月間運動（小枝切り 草刈り）
7	八坂祭
8	ふるさと祭り
9	敬老祝賀会
10	
11	
12	
1	
2	
3	

自治会名 若草	
月	行事名・内容等
4	
5	ウォーキングとおもちゃ博物館見学
6	
7	
8	
9	バーベキュー大会
10	
11	
12	
1	
2	
3	

自治会名 中表町	
月	行事名・内容等
4	敬老会
5	資源ごみ，ペットボトル回収
6	
7	八坂祭夏祭り 資源ごみ，ペットボトル回収
8	
9	資源ごみ，ペットボトル回収
10	
11	
12	資源ごみ，ペットボトル回収
1	
2	資源ごみ，ペットボトル回収 弁天様，十九夜様
3	

自治会名 上田	
月	行事名・内容等
4	不動院の天祭
5	道路等の清掃
6	
7	子ども育成会による廃品回収
8	
9	
10	
11	神社秋祭り（子ども育成会による出店）
12	どんど焼き準備
1	どんど焼き 子ども育成会による廃品回収
2	
3	神社春祭り

自治会名 上長田	
月	行事名・内容等
4	
5	
6	
7	
8	リサイクル活動
9	
10	
11	町内対抗野球大会
12	
1	どんど焼き本番と片付け
2	
3	

自治会名 安塚二	
月	行事名・内容等
4	
5	
6	
7	夏まつり
8	
9	
10	
11	
12	
1	安塚二新春のつどい
2	
3	

ボランティア団体，社会教育団体を対象とした調査

- 質問1 団体名をお書きください。  
30団体から回答あり n=30

- 質問2 壬生町教育委員会では，平成24年度から中学生による地域活動を推進して参りましたが，このことについてご存じでしたか。（1つ選ぶ）

回答内容	回答数	回答率
1 中学生による地域活動の推進の意義などよく知っている。	10	33.3%
2 中学生による地域活動の推進についてある程度知っている。	9	30.0%
3 中学生による地域活動が推進されていることは聞いたことがある。	6	20.0%
4 中学生による地域活動が推進されていることを知らない。	5	16.7%

- 質問3 貴団体が行っている行事や活動に，ここ1年の間で中学生や青少年が参加したことがありますか。（1つ選ぶ）

回答内容	回答数	回答率
1 毎回，何人もの中学生や青少年が行事や活動に参加している。	2	6.7%
2 ときどき中学生や青少年が行事や活動に参加している。	2	6.7%
3 少なくとも1回は中学生や青少年が行事や活動に参加した。	3	10.0%
4 中学生や青少年に呼びかけたけれど参加はなかった。	1	3.3%
5 中学生や青少年に呼びかけていないので参加はなかった。	22	73.3%

- 質問4 質問3で1～3を選んだ方にうかがいます。中学生や青少年はどのような行事や活動に参加しましたか。具体的にお書きください。

行事名・活動名	期日	内容	呼びかけの方法
病院患者図書室の運営	夏休みの月曜日	図書・患者指導箋等の整理，図書の貸し出し等	病院職員の子で先方からの申し出
チャリティー交流会 プチボランティア	H25. 5. 25 H25. 8. 4	ご当地グルメ販売 ごみ拾い	家族
夏まつり	H25. 8. 3	放送係	部員からの申し出
夏まつり	H25. 8. 23	各ブース担当	生涯学習課へ依頼
チャリティー交流会	H25. 5. 25～26	各種ボランティア	教委，学校を通じて

- 質問5 あなたは（団体の代表者ご自身），貴団体で中学生や青少年と一緒に活動することについてどのようにお考えですか。（1つ選ぶ）

回答内容	回答数	回答率
1 積極的に中学生や青少年と一緒に活動できる機会を設けたい。	6	20.0%
2 活動によっては中学生や青少年と一緒に活動できる機会を設けたい。	12	40.0%
3 中学生や青少年と一緒にできる活動がない。	11	36.7%
4 中学生や青少年と一緒に活動する機会は必要ない。	1	3.3%

- 質問6 質問5で1～2を選んだ方にうかがいます。貴団体が行っている行事や活動のうち、中学生や青少年と一緒に活動できそうな機会がありましたら具体的にお書きください。

行事名・活動名	期日	内容
高齢者介護施設での歌の会	平日の午後	高齢者の方と歌による交流
サマーボランティア講座	健康福祉まつり	中学校の学校祭
民謡民舞	民舞を通じて	壬生かんぴょう音頭
健康ふくしまつり	10月27日	焼きそばを焼き、販売する
絵本の読み聞かせ	特になし	入院施設、福祉施設での絵本の読み聞かせ
蘭学通りまつり	10月20日	壬生丼、かみなり汁販売
夏まつり、スポーツレクリエーション大会	8月、10月	放送係、ライン引き、テント張り、記録係他
未定	未定	障害者、高齢者との交流会
円遊会「高齢者の料理教室（いきいき壬雷クラブ）」等	年1回	料理、食事作り
料理教室、小物づくり	未定	休みを利用して、お菓子作り、お弁当づくり等
具体的には決まっていない		
チャリティー交流会	来年5月	ボランティアまたは主体的な参画者として
チャリティー交流会、文化祭開幕式		子ども文化祭検討中
チャリティー交流会		売店、受付、アナウンスなど
お話し広場（町立図書館）	毎週土曜日 14:00～	幼児～小学生対象の読み聞かせ、折紙
黄色いハンカチパーティー	12月頃	パーティー準備や当日の手伝い

- 質問7 質問5で1～2を選んだ方にうかがいます。貴団体の行事や活動で中学生や青少年と一緒に活動することができるまでに、どのような問題が予想されますか。自由にお書きください。

回答内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の調整、中学生のできる範囲</li> <li>・高齢者が多い ふくしまつりで非常食の炊き出し</li> <li>・活動のための練習が必要</li> <li>・特に問題は感じません</li> <li>・中学生による地域活動の意義、手続きの仕方</li> <li>・平日の活動のため日程が合わない。主催者からの声かけがあれば</li> <li>・休日のスタッフの確保が難しい</li> <li>・民話を語ることが未経験の中高生にどんなことができるのか</li> <li>・責任問題、希望に添えない、希望者多数の場合の調整</li> <li>・予算不足、事故があった時の対応、親の参加も望ましい、行政からの補助があるとたすかる</li> <li>・部活動との兼ね合い、部活動で地域活動に参加するように指導できないか、安全面での責任問題</li> <li>・本校主催の行事がない、他団体の行事・活動と一緒に参加できたらよい刺激になるのでは</li> <li>・募集の方法、練習時間の設定など</li> <li>・大人向けのパーティーのためどこまでのお手伝いをお願いしてよいのか</li> </ul>

第1回会議 グループ協議の記録

「中学校を卒業した青少年が、生き生きと地域活動に参画するために大切なこと」をテーマに、各グループでブレインライティングを行った。

Aグループのまとめ

<p><b>感謝</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感謝の気持ちをもつ。</li> <li>大人が真前に感謝すること。大切ですね。</li> <li>感謝する気持ちを伝えることが必要です。</li> <li>感謝の気持ちとお礼の気持ちも大切だね。</li> <li>仕事に対して、こういうことでありたいと伝える。</li> <li>喜び、充実感を味わってもらえると、表につながりますよね。</li> <li>仕事をした後の喜び、充実感をもつようにする。</li> <li>そのために大人がたくさんいるのなも、所を紹介したいですね。</li> <li>鬼の甲より甲の強です。</li> <li>時々「どうかな？」と見て、困っていたらアドバイスする。</li> <li>ほんの少しアドバイスだけでも違った形が見えますよね。</li> </ul>	<p>中学校を卒業した青少年が、いきいきと地域活動に参画するために大切なこと</p>	<p><b>環境づくり、仲間づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境をつくってあげるのが大人の役目ですね。</li> <li>参加できるような場を地域の大人たちが設定してやる。</li> <li>地元地域に集まると思える行事を行っていること。</li> <li>そのような場を設けてやるのは大人の責任かなあ。</li> <li>場を築くのは大切だと思います。</li> <li>大人が場の提供をしてあげることも大切ですね。(予算、環境、設備の充実)</li> <li>青少年がまた行ってみたいと思える場所をつくってあげること。</li> <li>地域が積極的に受け入れてくれること！</li> <li>高校に「いつでもどうぞ」と歓迎できる状況がある。</li> <li>高校は人と人をつなぐ輪だね。</li> <li>高校の良さを育てる。</li> <li>堂校心はどの子もあると思います。</li> <li>たくさんの方にも関わらう。</li> <li>一人でも多い方がいいですね。</li> <li>一人であるより二人の方がいい、二人であるよりみんなである方がよいことを感じてもらおう。</li> <li>そんな仲間づくりができるようにお手伝いしたいです。</li> <li>一人でも楽しんでいってほしい。</li> <li>いろんな行事に興味をもつことも大切ですね。</li> <li>行事の楽しさを伝えることが大切だね。</li> <li>子どもたちが積極的に参加できる雰囲気が必要かな？</li> <li>参加した喜びを、自分たちも楽しかったという喜びを分る。</li> <li>学舎は一生おれない友だちに会える。楽しさも一生。</li> <li>地域活動とおして、どんなふうに関わったか聞いてあげる。</li> <li>大人が楽しさを感じてくれる。</li> <li>声を掛け合う。楽しさを感じてもらおう。</li> <li>あいさつはしてあげるのを待つではなく、自分から。</li> <li>一度それができると次も自然にできるようになりますよね。</li> <li>地域の人間にでも元気にあいさつしよう。</li> <li>あいさつを元気にすること。</li> <li>青少年が同じ目的を持ったグループをつくるように。</li> <li>目的がもてるよう指導します。</li> <li>その「目的」が自分たちのためになったかな？と聞く。</li> <li>活用して前半が準備してくれる姿を見て、目的がわかることもあるのでしょうか。目的をもつことは大きな力になる。</li> </ul>
<p><b>認めてあげる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ほめてあげる。</li> <li>参加した青少年をみんなで褒め褒めてやる。</li> <li>「お！それいいや！」と言葉をかけて、よいやり方の一つを継続的に話す。</li> <li>ほめて伸ばすことですよね。</li> <li>ほめて伸ばすことが必要です。</li> <li>気持ちも理解してあげることが大切だね。ほめてあげよう。</li> <li>任せたい仕事を任せたくない。</li> <li>すばらしいものになりますよね。</li> <li>そのとおり。</li> <li>褒めて「嬉しいもの」だったと感じる様に、時々言葉等で心を休める。</li> <li>褒めてあげることのみですね。</li> <li>アイデアはすばらしいと思え取り入れる。</li> <li>ほんとはその通り！</li> <li>忍耐強く、青少年を育成していこう。</li> <li>じっと待つことも時には大切ですね。</li> </ul>	<p><b>信頼</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>信頼されることは信頼することにつながります。</li> <li>子どもを信頼する。</li> <li>自信をもって行動できることは未来を切り拓くかな。</li> <li>子どもの気持ちを思いやる。</li> <li>褒めてあげると子どもも大切にですね。</li> <li>自分に対して自信をもつことが大切ですね。</li> <li>信頼されると大きな力になって、自信をもってやることでしょう。</li> <li>信頼していることを態度に出してあげることも大切ですね。</li> <li>子どもの言うことは、耳を傾けてよく聞いてあげる。</li> <li>そのとおりだと思います。大人は子どもをしっかりと認めてあげてほしいですね。</li> <li>任せたい仕事は最後まで任せる。</li> <li>同じ年齢のものを見て考える。</li> <li>聞いてもらうだけでも、心が豊かされ、すっきりとし、何をやるべきかが見えてきますよね。</li> <li>共感的に考えることが必要だと思います。</li> <li>まず、心と身体とで楽しく活動できると思いますが、主体は心だと思います。</li> <li>何事も態度で示すことを心がけたいなあ！</li> </ul>	

Bグループのまとめ

<p><b>リーダーづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集まれる拠点づくりには、リーダーが必要。</li> <li>リーダーを揃える(養成)。</li> <li>リーダー研修(先進地域から講師派遣)。</li> <li>リーダー研修は絶対必要なので研修会は必要だと思います。</li> <li>リーダー希望者を募りますか？</li> <li>希望者だけでなく、ランダムで選んでも結構やれる子がいると思う。</li> <li>できるときに、できる人が、できることをというスタンスが十分伝わるといいと思う。</li> </ul>	<p>中学校を卒業した青少年が、いきいきと地域活動に参画するために大切なこと</p>	<p><b>支援体制</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会に青少年参加を呼びかけ、自治会行事に引き込んでもらう。</li> <li>コミュニティーのうちでも、老人クラブ等、人数が揃っているようなところを支援する。</li> <li>町の予算、参加者への負担とか。</li> <li>ジュニア程度でよいと思います。</li> <li>地域(自治会、コミュニティー等)の支援。</li> <li>まわりの大人で手のおいてくれる人(定年退職した人など)が支援する。</li> <li>公民館など利用料の免除。</li> <li>スタートアップがあるように、いいアイデアだと思います。</li> <li>基本的には自己責任になるかも(1年次の中学生がそうだった)。</li> </ul>
<p><b>参加者の拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一度参加した人に表向はプラスの友だちも連れてきてと呼びかける。</li> <li>新しい方とは普段外に出られない近隣の方も参加させる。</li> <li>おじいちゃん、おばあちゃんもひっぱって参加させる。</li> <li>とにかく楽しい行事、やりがいのある企画に参加させる。</li> <li>友だちが参加しやすい、例えば、団体スポーツなどの企画(バレー、バスケット)。</li> <li>音楽関係のグループのスタッフとして参加させる。</li> <li>学校って高校のこと？</li> <li>近況的的な仕事もいろいろでは？子育て中のママもひっぱってくる。</li> <li>成人式などはいちチャンスかも。</li> </ul>	<p><b>拠点、集会場所</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>拠点となる施設確保。</li> <li>拠点づくりは必要。月1回とか定期的に集まれる場所が必要。(学生主導で)。</li> <li>窓口をつくる。</li> <li>窓口は今より行政になる？ボランティア支援センターが利用できるといいですね。</li> <li>青少年がいつでも集まれるスペースをつくり、そこを拠点に活動を呼びかける。</li> <li>集まれるスペースに集まってくれる人がいた方が、危険管理上いいですね。(指導する人でなくて)。</li> <li>集会場所の予約がやりやすいよう、オンライン環境を整備する。</li> </ul>	<p><b>学校との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>部活と勉強とどう折り合いをつけて参加させるか。</li> <li>学校の授業を調整して、課外活動しやすくする。</li> <li>活動への参加に対する表彰など。</li> </ul>
<p><b>広報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高校生が参加したくなるイベントを広報する。</li> <li>公民館などのイベントをもっと開拓する。</li> <li>広報活動そのものも青少年に手配してもらおう。</li> <li>町のイベントを広報し、参加を呼びかける(中学生の時と同じ手法)。</li> <li>友だちと参加しやすいように広報する。</li> <li>町全体と地域コミュニティー併行でやると、活動の幅が広がっていくと思う。</li> <li>学校を介して行うのもっといいかも。</li> </ul>	<p><b>事前調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高校生が しているものを調べる。</li> </ul>	

## Cグループのまとめ

### 心を育てる

- ・自立に向かう。
- ・いろいろな考え、価値の違い、広める。
- ・心の強い人。
- ・道徳。

### 意見を交換する場

- ・意見を出し合う機会が大切。
- ・青少年が集まれる場をつくる。
- ・中学生（青少年）が活躍できる場を提供する。
- ・交流を深める場をつくる。
- ・青少年たちだけのアイデアのイベント。
- ・主役は青少年ですからいいことですね。
- ・自分の意見を出し合う。
- ・大人と中学生（青少年）が意見交換する。
- ・青年の意見を大声で。
- ・特に男子が参加。
- ・自分の意見を出し合う。
- ・地域と個人つながり。
- ・共通理解、他を認める。
- ・できることで 高齢者も、子どもも 男女ともに
- ・青少年も他人のためになりたいと強く感じています。

中学校を卒業した青少年が、いきいきと地域活動に参加するために大切なこと

### 出会い、交流

- ・友達も。
- ・多くの友人づくり。
- ・友人との絆を深める。
- ・友人を誘い、友人づくりをする。
- ・仲間づくり。
- ・仲間から地域の輪ですね。
- ・仲間の輪、広げたいです。
- ・地域で青少年が活躍できるイベントをつくる。
- ・イベント、集ごと。
- ・中学生（青少年）が主体となって、新しいイベントを開発する。
- ・参加でなく、参加でいきましょう。
- ・地域の行事に若者が参加できる機会を。
- ・地域の行事も顔に入れて。
- ・公民館や公民館がいろいろありますね。
- ・地元でもいいです。
- ・他地区にも行ってみよう。

### 支えあう心

- ・アイディア。
- ・若い人のアイディアを生かしたい。
- ・大人も一緒に学びますね。
- ・思いやりの心。
- ・アドバイザー的な人（兄貴的など）を用意する。
- ・大人のアドバイス。
- ・大人とのかかわりをもって、社会を学ぶ。
- ・それぞれの役割づくり。
- ・助け合いの心。
- ・協力。
- ・大人も意見も大切に。
- ・夢が盛り合えたらいいかな？
- ・大きな声で言い合えたら最高！

## Dグループのまとめ

### 自覚性を導く

- ・自覚的。
- ・自覚的に行動する。
- ・自分の意思を言う。
- ・自ら行動的に行う。
- ・どうしたら自覚的に参加してくれるのか地域で皆と一緒に考えるのがよいかもしれません。
- ・自分が楽しむ。
- ・自覚的にできるようにいろいろな場面で用意できるというのでは？
- ・誘われたからやるのではなく、自ら主体的に動く子は大切ですね。
- ・自分が楽しむことで、自分自身も新たな経験ができます。私もキャンプで感動体験しました。
- ・相手の話を耳を傾ける。
- ・自分を生かした行動をする。
- ・自覚的に行動できるように魅力的なことがあるといいですね。
- ・様子を見る
- ・自覚的＝ボランティア
- ・他人のことを気遣う
- ・誘われたからやるのではなく、やりたいからやる、これが自覚性を促す。

### 仲間づくり～誘おう・参加しよう～

- ・友だちと一緒なら安心ですね。最初の一言はそこから自分だと思えます。
- ・友だちを誘う。
- ・体育祭で活躍してほしいなど誘い出す。
- ・夏祭りや小学生を助けてほしいなど誘い出す。
- ・人と人つながりによって、楽しさが伝播しますね。
- ・幼い子どもの参加を促す。
- ・ともに育つ大切さを共有しよう。
- ・見た人、気づいた人が、一声運動を心がける。
- ・仲間ができて楽しさも伝播しますね。例度も参加して意見取りになってほしい。
- ・得意なことを積極的に参加。
- ・仲間をつくる。
- ・年の差を気にしない仲間と活動する。
- ・仲間をつくること楽しいですね。世代をこえた仲間づくり。例ができるだろうか。
- ・行事に参加したら、大人は聞き役に。若者が活躍できるようにするとよいかもしれません。こちらの様子も感じてもらう。
- ・こちらの趣味などを伝えて関心を示しながら自治会行事に参加。
- ・社会参加をする。

中学校を卒業した青少年が、いきいきと地域活動に参加するために大切なこと

- ・高校でも継続して行く。
- ・町内だよりを参考にする。
- ・どこまでどんな地域活動が行われる予定か等、情報収集をする。
- ・田舎って雑食を共にする。
- ・人。
- ・経験をして初めて気づくこともあるので、継続は力なり。
- ・若い頃は競争心も旺盛ですね。
- ・自分の心を開こう。
- ・他人が楽しいことを探そう。
- ・自由な意見交換。
- ・相手の話を耳を傾けることは、大切ですね。若者のお母さんとも親しくお話しできるとよいですね。
- ・得意なことにも感じながら。
- ・聞き上手な人がいるとまよりますね。
- ・結果も大切であるが、過程も大切にしていく。親の言う精神。
- ・勝っても負けても楽しい活動。

### 周回の大人のかかわり方

- ・町内や地域に不登校などの子どもがいたら地域行事に誘うことができたらずばいい。そのためには例をしらよいでしょうか。
- ・まず地域に大人が出て行くことがよいですね。その中で行動・活動する。
- ・まずは中学時代に率いる組織をさせる。
- ・自分の子育てが終わると近所の子どもたちも顔や名前がわからなくなってしまっていますね。積極的に出て行くことは大切ですね。
- ・自分の名前を覚えてもらう。
- ・小学校、中学校を通じて顔見知りになっておくことは一番大切かもしれませんね。
- ・名前を覚えてもらうような交流を立案しよう。
- ・経験。
- ・習い事や名前を覚えてもらう。
- ・意見が言いやすい雰囲気づくりが大切ですね。
- ・まず自治会行事に参加できるように。声をかけて誘う。その保護者とも仲良くしておくとい。
- ・仲間づくりが前提になるような活動をする。
- ・地域の行事に参加し、町内の子どもたちと顔見知りになっておく。そして、中学を卒業してからも参加してくれるとうれしいと伝えながら誘う。「若者の力が必要なんだ」と。
- ・こちらから自覚的に積極的に声かけも有効ですね。「おはよう」「おかえり」いいですね。
- ・コミュニケーションが成立するような活動を立案する。

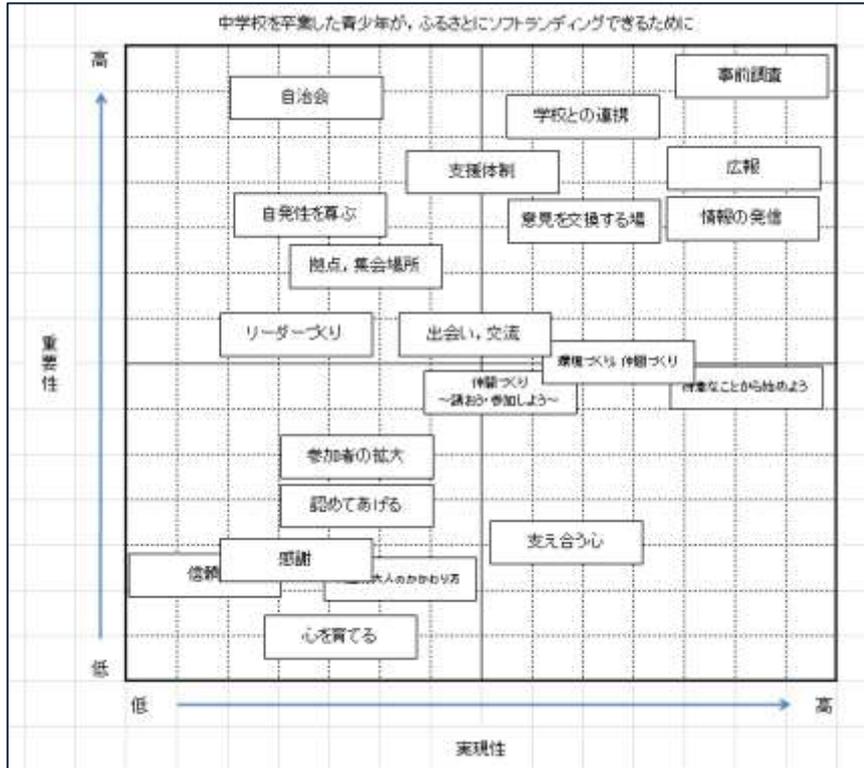
### 得意なことから始めよう

- ・好きこそものの上手なれ。
- ・得意とすることは何なのか、自分自身を知ることから始めよう。
- ・得意なことでも自信がつけば次のステップに進みやすくなるかもしれないですね。
- ・自分の得意なことをする。
- ・得意とすることは積極的に行動できるのでいいですね。
- ・“得意なこと”が見つかるようにいろいろな場面で得意があげられるといいですね。

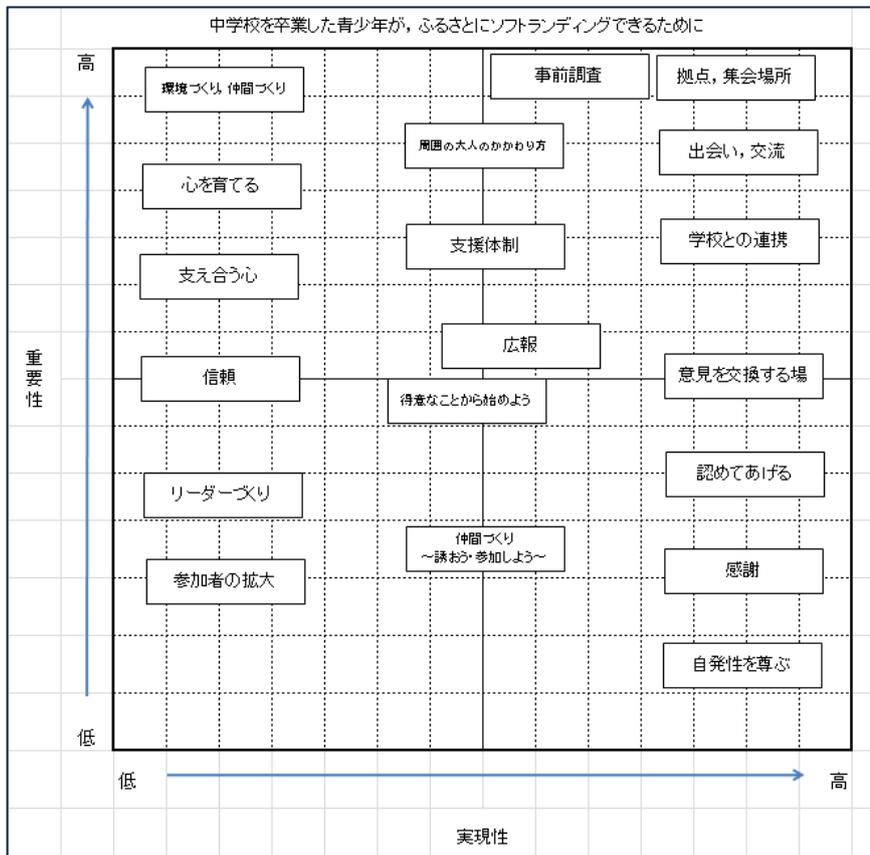
## 第2回会議 グループ協議の記録

「中学校を卒業した青少年が、ふるさとにソフトランディングできるために」大切なこと（キーワードは第1回会議のまとめでつけられたタイトルから）を、グループでの協議で重要性和実現性のマトリクス表にならべた結果。

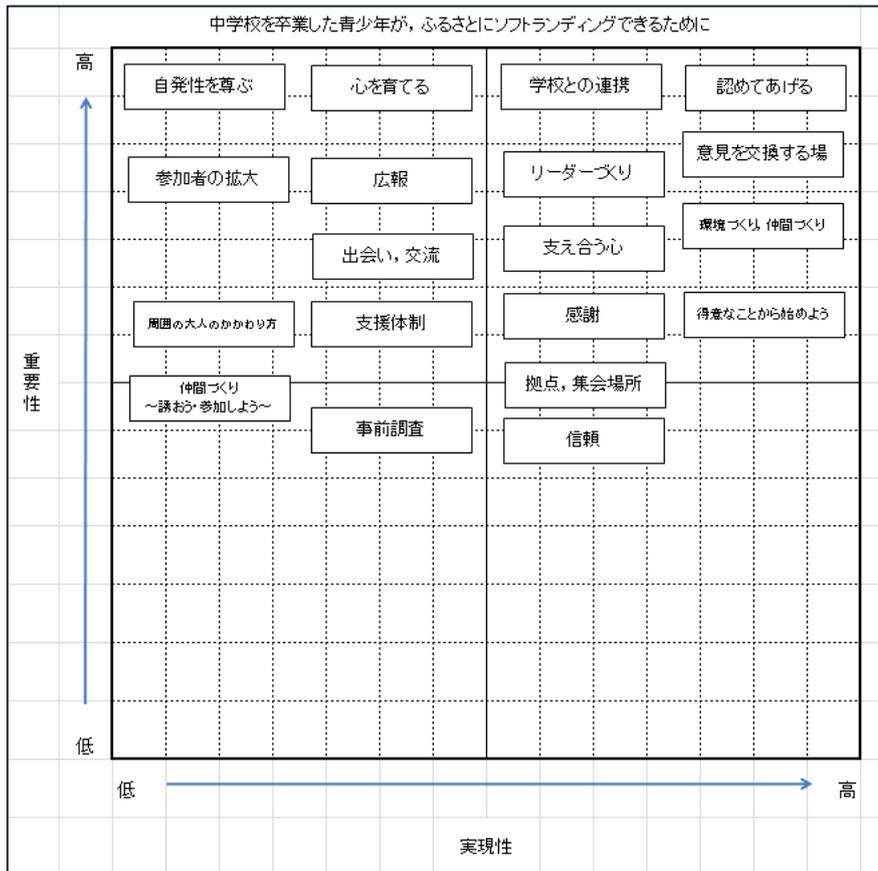
### Aグループ



### Bグループ



Cグループ



◇中学校を卒業した青少年が、ふるさとにソフトランディングできるために

	内 容	指数(重要性×実現性)
1	学校との連携	212
2	意見を交換する場	204
3	事前調査	195
4	拠点, 集会場所	177
5	広報	177
6	出会い, 交流	166
7	得意なことから始めよう	150
8	環境づくり 仲間づくり	150
9	認めてあげる	145
10	支援体制	112
11	リーダーづくり	99
12	支え合う心	98
13	情報の発信	90
14	心を育てる	78
15	周囲の大人のかかわり方	76
16	感謝	75
17	仲間づくり～誘おう・参加しよう～	63
18	自発性を尊ぶ	62
19	信頼	54
20	参加者の拡大	47
21	自治会	36



「子曰わく、老者は之を安んじ、朋友は之を信じ、少者は之を懐けん」

これは、孔子が二人の弟子に対して志は何かと質問した後、弟子たちから先生の志は何ですかと質問されたときに応えた言葉です。「高齢者から安心され、友人から信頼され、年少者から慕われる人物になりたいものだ」と現代語訳できるそうです。この言葉に対して、渋沢栄一氏は「孔子の志に至っては、天のように広く、海のように深い。すべての人に対して仁をもって接し、包容力が言外にあふれている」と評しています。相手に合わせた具体的な志は、社会教育に携わる者として心に留めておきたい言葉の一つであり、さまざまな世代の人たちが生き生きと、そして幸せに生活できる社会のために自分にはどんな役割を担うことができるのかを問う言葉でもあると感じます。

現在、青少年を含めた子どもたちを取り巻く環境は、高度情報化の進展により手軽にさまざまな情報とつながることができるようになった一方、少子化、核家族化などに伴い地域住民とのつながりの希薄化が進行するなど、以前に比べ他者とのかかわりの中から人のあたたかさを感じ取れる機会が少ないものとなっています。このような環境だからこそ、もう一度、人と人がつながりあえる機会や場を地域に求め、その中で子どもたちが誇り高さ大人へと成長するための素地を整えていく必要があると考えます。

そこで、このような状況を踏まえ、私たち社会教育委員の会議では、青少年が他者とかかわりながら自己の伸長が図れるようこの答申書の中に4つの提言と22の方策を示しました。青少年という多感な時期における他者との出会いやかかわりあいは、その後の人格形成に大きく影響を与えるものとなります。この時期に、青少年たちが「よい地域の大人」と出会い、かかわりあうことができるよう、一つ一つの方策を実践していくことが大切になってきます。壬生町社会教育委員の会議は「自ら考え 自ら行動する 社会教育委員」をスローガンにしています。答申を出したからそれで終わりではなく、自分に「できること」を「できる範囲」で実践に移していきたいと思っています。

今後は、壬生町社会教育委員や教育委員会事務局はもとより、壬生町民のご理解とご協力をいただきながら、青少年たちが「壬生町に育ってよかった」「壬生町で学んでよかった」という思いを抱きながら、誇り高い大人へと成長していけるよう、青少年による地域活動を推進して参りたいと思います。

結びに、この答申を策定するにあたり、貴重なご意見やご提案をいただきました皆様、そしてアンケート調査に対し快くご協力くださいました皆様に厚く御礼申し上げます。

平成26年2月4日

社会教育委員の会議 議長 田中 鍾八郎



